本県における教職員多忙化改善のこれまでの取組（H29-R2）

資料１－１

3年間の取組

H29　H30　R1　R2　R3

教職員勤務時間調査の実施　４月

教職員多忙化改善推進協議会

＜メンバー＞
県教委、市町教委、
校長会、高体連、
中体連、　　など

８月①　11月②　１月③　３月④　８月⑤　11月⑥　３月⑦　８月⑧　11月⑨　３月⑩　11月⑪

立ち上げ

＜取組の進捗や課題について協議等＞

「取組方針」策定

「取組方針」改定

教職員の多忙化改善に向けた取組方針

（統一的な取組
教育委員会における取組
学校における取組
部活動指導における取組）

＜Ｒ２年度末までの達成目標＞
・全校種で時間外勤務時間の月平均を前年度より減少
・３年間で月80時間超ゼロを目指す

＜中長期的な目標＞を付加
・時間外勤務の上限を設定
月45時間　　年間360時間

第11回多忙化改善推進協議会での主な意見

これまで自分達で出来る取組は既に行っている。これまでの取組を今後も着実に続けていくことが何よりも大事。

取組方針の実行に向けた県・市町予算措置

保護者や地域の方々の理解と協力を求める

５月
リーフレット作成・配布
（保護者、公民館、図書館等）
約15万部

４月
小学校新１年生保護者へ追加配布

４月　改定版
リーフレット作成・配布
（保護者、公民館、図書館等）
約15万部

多忙化改善実践推進校の指定

小学校3校、中学校3校、高校3校指定
⇒　率先垂範した取組
外部人材の活用（業務改善アドバイザー、環境改善アドバイザー、ICT支援員など）

業務改善取組事例集１
業務改善取組事例集２
業務改善取組事例集３

スクール・サポート・スタッフの配置による業務減

H30年度
・小中　30校配置

Ｒ１年度
・小中　51校配置

Ｒ２年度
・小中　229校配置
・県立　43校配置

Ｒ３年度
・小中　245校配置
・県立　50校配置
予定

部活動指導員の配置による業務減

H30年度
・47人配置

Ｒ１年度
・79人配置

Ｒ２年度
・94人配置

Ｒ３年度
・111人配置（予定）